

今号の主な内容

新年のご挨拶を申し上げます。..... 1
公益財団法人人材育成ゆふいん財団 役員
財団ニュースは皆様からの情報提供を募集します。
ゆふいん元気！ 2,3
「塚原ふれあいまつり」レポート!!
川西小学校3・4年生 小鳥巣箱作り
ゆふいん財団掲示板 4

[発行日] 2011年1月1日
[発行] 公益財団法人人材育成ゆふいん財団
[発行人] 溝口薫平
[編集責任者] 霜野圭一
[編集] 人材育成ゆふいん財団企画委員会

住所/湯布院町川上2863
TEL/85-4748 FAX/85-4759
E-mail: info@yufuin-zaidan.jp
H.P : http://www.yufuin-zaidan.jp

新年のご挨拶を申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。
ゆふいん財団も、公益財団法人として2年目を迎えました。今年からは新たな形と方向性のもとで事業が展開されます。

私は若い時、社会教育の仕事にたずさわる中で、「人が育つとは、一人ひとりが自己を実現することだ」と教わりました。自己を実現するとは、卑近な言い方をすれば、「自分であることを喜べる人になる」ということでしょうか。

また、社会教育にたずさわるものは条件整備者でなくてはならないとも教えられました。条件整備者とは、人が自己実現していくために必要な環境を作る者という意味です。

ゆふいん財団の事業は、まさしく条件整備であり、事業の主人公は自己を実現しようとする人であり、

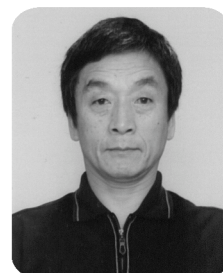
“あなた”でなくてはなりません。

この町には、いろんな人がいろんな希望や夢をもって生きています。夢や希望は自己実現にはなくてはならないものです。夢や希望を語る時、人は共感し合い、個人の思いや生きがいをつなぎ合うことができます。

夢や希望を形にしようとする活動や団体を財団が事業として応援することができれば、個人の夢や希望がやがて湯布院という小さな町の大きなパワーとなっていくでしょう。

そんな夢を見ながら今年も財団にかかわってまいりたいと思います。今後とも、ゆふいん財団へのご理解とご協力をお願いいたします。

人材育成ゆふいん財団理事
岩尾 豊文



公益財団法人 人材育成ゆふいん財団 役員

<理事長>	<常務理事>
溝口 薫平	霜野 圭一
<理事>	
麻生 時寿	高倉 忠雄
阿部 哲哉	田中 明美
岩尾 豊文	時松 辰夫
大島 喜久枝	利光 恵子
金子 裕次	峰 親則
木戸 浩久	
<監事>	
太田 正美	土屋 誠司
<評議員>	
阿部 尚志	田代 教二
衛藤 文和	松村 真知子
河野 雄一	溝口 裕二

ホームページで情報を公開しています！

カチッ! 検索 ゆふいん財団

財団ニュースは皆様からの情報提供を募集します。

- 今後、財団ニュースでは以下のよう
な人やその人が取り組む活動、
情報提供がございましたら、お気
学びに関する特集をしていきます。
- 自薦他薦を問わず、様々な活動の
情報提供がございましたら、お気
軽に事務局までご連絡下さい。

「ゆふいん元気！」

- ・ゆふいんで活動している取り組みを情報提供します。

「ゆふいんtopic」

- ・ゆふいんで、今最も旬な話題を情報提供します。

「0歳から100歳までの「ゆふいんの学び」」

- ・民間が行う学習の機会や勉強会を取材・ご紹介します。

「ゆふいんあの人・この人」

- ・ゆふいんの名人、達人を取材・ご紹介いたします。

「がんばっています！」

- ・長年努力されている方、新たに取り組みを始めた方など、とにかくがんばっている人を取材・ご紹介いたします。

「私も会員です！」

- ・ゆふいん財団の会員の方をご紹介させていただきます。

ゆふいん元気！ 「塚原ふれあいまつり」レポート！！

11月23日、塚原小学校の体育館にて「塚原ふれあいまつり」が開催されました。塚原地域の方や塚原小学校、塚原幼稚園の子ども達、そして保護者・教員・関係者が一堂に会し、ふれあいながら楽しむまつりです。午前のふれあい活動では「昔の遊び」を地域の方と一緒に楽しみ、それからふれあいコンサートでの音楽堂本舗の演奏会です。午後は一輪車演技の披露や子ども達の発表会があるプログラム。地域とのふれあいが盛りだくさん、小学校と幼稚園の連携が盛りだくさん、子どもたちの成長が盛りだくさん。文化祭シーズンに行われた実り豊かな催事の様子をご報告していきます。



- ①あやとりやお手玉を学びます。こうした遊びがあったからこそ、日本人は器用になったのでしょうか。手の掌という手の巧緻性を高めるには良い遊びです。地域の方の特技を見て、子どもたちが驚いていました。
- ②③新聞を折りながら「かぶと」を作っています。完成したかぶとをかぶっていた幼稚園児ができたことを自慢していました。他にも折り紙で「しゅりけん」や「紙飛行機」、「鶴」なども作っていました。
- ④⑤子どもたちがコマまわしに挑戦。「今の子ども達ができるのだろうか?」。意外とお上手。コツをどんどん覚えて、手のひらに乗ったり、コマ同士で戦わせたり。しかし、メンコは少し難しかった様子です。楽しみを覚えると、子どもはどんどん上達が早くなります。

⑥⑦音楽堂本舗を招いての演奏会。歌遊び、体を使いながら音楽を楽しむ演奏会です。「塚原に行こう」、「いもほれ、ほ〜れ」では会場が一つになって楽しみました。この演奏会は塚原では今年2回目。演奏会を開くための助成金を得ながら、こうした機会を地域と学校が一緒になって創っているそうです。



⑧1年間の学習成果の展示がたくさんありました。授業で川柳を学び、自分たちで考えた作品はとっても良かったです。

⑨昼食での食事会です。食材は地域からの提供。保護者・PTAの方々の料理、準備によるふるまい料理です。



⑩昼食後は、塚原小学校の児童による一輪車演技。子どもたちのリハーサルにも力が入っていました。



入学すると同時に、技術に磨きをかける一輪車。まるでサーカスのようでした。1人1台以上の一輪車を所有していることが塚原小学校の豊かさ。ボランティアの方がメンテナンスのサポートもしています。「将来自分もがんばりたい」と演技を真剣に見つめる塚原幼稚園の園児たちの表情がとても印象的でした。

⑧ 「川柳 テーマ 「ゆめ」」

ゆふいんで おはなやさんになりたいたい
 ぼくのゆめ けいさつかんになりたいたい
 はなやさん ゆめみるわたし まだつぼみ
 めざしてる F1せんしゅ ひょうしようだい
 なりたいな まほうつかいと にんじやもね
 ぼくのゆめ かなうといいな だいくさん
 わたしはね みらいのゆめは パンやさん
 三ツ星を 取ってみせるよ 料理長
 あれこれと 未来予想図 えがこうよ
 えがきたい 私の夢を 大空に
 いつの日か ハウゼと話せる ときをまつ
 やりたいな ピアノきようし になりたいな
 なりたいな ひとをたすける けいかんだ
 ぼくのゆめ おおがねもちの だいふごう
 なりたいな ようかい人間 かつこいい
 わたしはね おはなやさん になりたいたい
 ぼくのゆめ プロやきゆうで かつやくだ
 かんみかん ぜんぶ食べたい ひとりじめ
 画用紙に えがける夢は はば広い



ふれあい活動の第2部。塚原幼稚園の園児からは「2学期の楽しかった思い出」の発表。⑪塚原小学校1・2・3年生からは劇「九十九のつか」⑫4・5年生からは劇「つかはら」。おもしろく、楽しい演技で塚原の紹介してくれました。⑬6年生は「塚原供養塔物語」と題し、天下を分けた関ヶ原の戦い、豊後石垣原の合戦、地域に残る供養塔について分かりやすく説明してくれました。

そして音楽発表。⑭塚原幼稚園からは「ふゆのうたクルリン」「ももたろう」「うちゅうせんのうた」の合唱。⑮塚原小学校からは「ピープル・オブ・ザ・ワールド」の合唱と「オーラリー」の演奏がありました。最後は全員で「ふるさと」を合唱し、楽しいまつりが閉幕しました。

ゆふいん 川西小学校3・4年生 元気！ 小鳥巣箱作り

11月16日(火)川西小学校3・4年生(橋本洋一校長、杉田貴美子先生)の総合学習の授業を見学に行ってきました。“鳥の巣箱作り”。NPOゆふいんベンチチーム(岩男裕二郎理事長、ベンチチーム代表：峰親則氏)の皆さんのご支援・ご指導を受け、大工仕事です。子どもたちの目標は「自分の巣箱をつくり、鳥を招き入れること」です。



①作り方の手順と各部材の説明を受けます。みんな興味を持って話をききます。当て木を活用した釘の打ち方など巧みな技術を伝授します。それを真剣に見つめる子どもたちの表情が印象的でした。



②最初はサポートをしてもらいながらの釘打ちです。友達にも支えてもらいながら、協力して釘打ち。釘をまっすぐに打ち込むのは思っていたよりも難しかったようです。



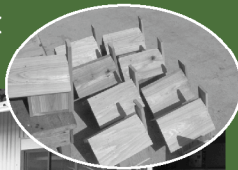
③間違えて、自分の手をたたいてしまう子もいます。これが結構痛いです。後になればなるほど、ジンジンと痛みが出て、涙が出るのをこらえている子もいます。しかし、コツを覚えてだんだん上手になっていきます。



④屋根の部分を釘打ちするのが大変な作業となります。差し金の直角の部分を屋根の上部に乗せながら、釘打ちの箇所にはラインを引きます。使いながら、差し金がとても便利な道具だということを実感していきます。



⑤塗装は持ち帰ってから各自で行います。みんなの作業が終わったら、さしいれのスイートポテトを美味しく食べました。どんどん巣箱が完成していきます。みんなとても充実した表情をしていました。

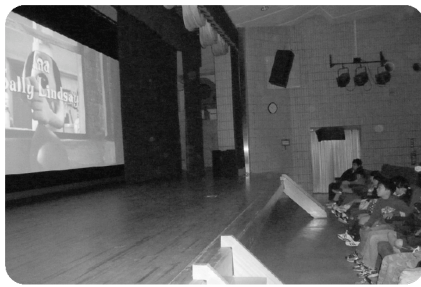


<子ども達の感想>

- 「たくさんの鳥が来てくれると良いな～」と思った。
- はじめての巣箱作り体験をし、とにかく完成して良かった。
- 釘が違うところに入っていく、大変だったけど、きれいに作る事ができて良かった。
- 体験は初めてだった。とても楽しかった。今度は家族と一緒に作ってみたいと思います。
- 今回が2回目だったけど、以前よりうまくできて良かった。

NPOゆふいんベンチチームでは、総合学習など木・竹工作の指導、サポートのご依頼をお待ちしております！

ゆふいんTOPIC 「第22回ゆふいん子ども映画祭」 (開催速報)



3月5日(土)、6日(日)は「第22回ゆふいん子ども映画祭」(主催:由布市教育委員会・子ども映画祭実行委員会)が開催されます。「こどもも、おとなも、楽しめる映画祭」をテーマにアニメと実写映画を上映します。開催にあたって子どもたちから展示ポスターを募集します。テーマは「こんな世界、あんな夢」です。会場をより一層盛り上げるためにも、子どもたちのご応募お待ちしております。本号では、速報版で上映作品を掲載しております。詳しくは、今後行われる広報等でご確認またはお問い合わせの上、3月の開催を待ち、ぜひご来場下さい。

＜上映作品スケジュール(予定)＞

※直前の開催時間等については、由布市中央公民館(84-2604)までお問い合わせ下さい。

3月5日(土)	11:00～	「赤い風船」 「忘れられた人形」
	13:30～	「カールじいさんの空飛ぶ家」 「桜の園」
3月6日(日)	10:00～	「白い馬」 「バッタ君町に行く」
	13:30～	「ナイン」

＜展示ポスターを募集します＞

- ・展示ポスターを募集します。応募し、作品を持って来てくれた子どもには、子ども映画祭の全日通し券を贈呈します。
- ・応募作品は2月25日(金)～3月6日(日)の間、中央公民館にて展示を行います。

【テーマ:「こんな世界、あんな夢」】

- ①たとえば、自分が住んでみたいところ
- ②こんなことができたらいいな
- ③こんな未来になったらいいな
- ④もし、○○○になったら

＜お問い合わせ＞0977-84-2604 中央公民館

INFORMATION

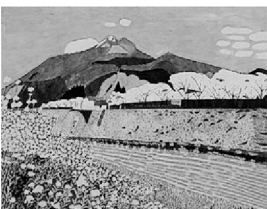
人材育成ゆふいん財団 掲示板

平成22年度市民実践活動への助成・顕彰事業が決定しました。

(1) 市民実践活動への助成事業 「東勝吉賞水彩画公募展実行委員会」

【プロジェクト名】

東勝吉賞水彩画公募展「陽はまた昇る～83歳からの出発～」(図録づくり)



- ・平成23年1月14日～2月3日の間、由布院駅アートホールと湯布院 受け月ギャラリー2Fにて開催される東勝吉賞水彩画公募展「陽はまた昇る～83歳からの出発～」に先立ち、公募作品の図録が作成されます。
- ・その図録づくりにおける印刷製本費(予算額:250,000円)について助成をします。

(2) 市民実践活動への顕彰事業 「ゆふいん音楽祭」

- ・平成21年に35回をもって幕を閉じた「ゆふいん音楽祭」への顕彰についてご推薦をいただきました。
- ・その実績と功績を称えと共に、今後、ゆふいん音楽祭の全記録出版事業の管理・運営をもって顕彰を行います。

編集後記

昨年は財団ホームページをリニューアルしました。おかげで財団ニュースでは伝えきれない情報をそちらで掲載することが可能になりました。地域に密着した情報をより速く流すほど、まだまだ作業が追いついていませんが、今年こそは更新の機会を増やし、写真や映像を使いながら分かりやすい情報をお伝えしていきたいと思っております。また、事務局ブログ「事務局パパ日記」を綴らせていただいております。世の中のほんの一例として、恥ずかしながら、自身の親バカぶりを掲載しております。日常の情報も発信していきますので、良かったらご覧下さい。(事務局・大澤直彦)

みらいしんきんは人材育成ゆふいん財団の市民の実践活動への情報・ネットワーク事業を応援します

MIRAI 券みらい信用金庫

URL <http://www.oitamirai.co.jp/>